

いじめ・不登校・問題行動等の未然防止 ～日々の子供の様子を見ることからはじめよう～

西部教育局
お役立ち情報
令和2年 5月号

行動の様子や人間関係の変化、その背景等を意識しながら、子供たちの様子を見る
ことが、日々のちょっとした変化に気付くことにつながります。

「あれ？」と思う子供たちの姿を見過ごさないことが、いじめや不登校、問題行動等
の未然防止の第一歩です。

「あれ？」と思う子供たちの姿って…



一人一人の子供をしっかり見ることが
大事だということは分かるけど、どん
などころを見ればいいんだろう…。

【朝の確認】

- 名前を呼ばれても返事をしない。
- 教師と目を合わせなかったり、
うつむいたりしている。
- 同じ服を着ている日が続いている。
- 普段よりよくしゃべる。落ち着かない。



朝の健康観察や出席確認は、子供の体
調確認とともに、子供の変化に気付く
チャンスです。
「いつもの様子と違うな」と感じたら、
朝の早い段階で声かけをしましょう。



【授業中】

- よく外を見て、ぼんやりしている。
- 頻繁にトイレに行きたがる。
- ノートの字が乱雑になった。
- 寝ていることがよくある。



鉛筆の削り具合等から学習への意欲が、
道具箱等の整頓の具合から生活の落ち着
きが見えてきます。
筆箱や道具箱などの持ち物にも目を向
けるようにしましょう。



【休憩中】

- 友達とは遊ばず、一人で過ごすことが多くなった。
- 子供が内緒話をする場面をよく見かける。
- 遊び仲間の構成が頻繁に変わる。
- 「プロレスごっこ」等の遊びがはやる。



休憩中には、子供の興味・関心等に気
付いたり、授業中には見えない子供同士
の関係を見たりすることができます。
教師が意図的に声かけをし、子供と話
をする機会をつくりましょう。



【給食中】

- 給食を残したり、食欲がなくなったりしている。
- 何回もおかわりをする。
- 箸の持ち方等、食事の作法が
身に付いていない。



たくさん食べることは良いことですが、
家庭で食事をとることができていないと
も考えられます。
食事の様子、食事の量、残菜の具合等
にも目を向けるようにしましょう。



即時対応が 解決のカギ

「あれ？」と思ったときに、直接子供に声をかけたり、
周りの教師に相談したりしましょう。



「～子供を理解する上での3つの留意点～」

- (1) 【子供の】何を見るのかを意識する
- (2) 【教師から】一人一人の子供に寄り添う
- (3) 【子供が】相談しやすい雰囲気【教師が】つくる

教師には「一人一人の子供
を理解して、適切な働きかけを
行う」ことが求められます。
常に、自らの目で子供の行動
や様子を確認するとともに、子
供の内面や家庭での様子の把
握に努めることが大切です。

